

第22回萩元晴彦ホームタウンコンサート

violin **石田 泰尚**
Yasunao Ishida
piano **山田 武彦**
Takehiko Yamada



演奏予定曲目

♪ビーバー
パッサカリア
♪クライスラー
美しきロスマリン
テンポ・ディ・メヌエット
♪ピアソラ
ル・グランタンゴ
ほか

2025年 **12月28日(日)**

15:00開演(14:30開場) **全席指定**
飯田文化会館ホール

一般 4,500円 学生(大学生以下) 1,000円

チケット一般発売日 **10月8日(水)**

友の会会員先行予約 **9月10日(水)～26日(金)**
【会費無料・会員受付中】

プレイガイド

- 飯田文化会館
窓口／10月8日(水) 9:00～
電話／10月8日(水) 11:00～
- チケットオンライン「いいチケ」
Web／10月8日(水) 11:00～
<https://p-ticket.jp/iida>
- 平安堂飯田店・座光寺店
店頭／10月8日(水) 10:00～



いいチケ

*未就学児の入場はご遠慮ください。託児コーナー(無料)を用意しますので、ご希望の方は12月12日(金)までに下記、お問合せへご連絡ください。[定員あり・先着順]。
*公演中止の場合を除き、ご予約後・ご購入後のチケットの変更、キャンセルは一切お受けできません。

■主催：飯田信用金庫／飯田文化会館／萩元晴彦ホームタウンコンサート実行委員会
■後援：信濃毎日新聞社／中日新聞社／南信州新聞社／TSBテレビ信州／飯田ケーブルテレビ／飯田エフエム放送・飯田経済新聞
オーケストラと友に音楽祭実行委員会／下伊那教育会／下伊那教育音楽研究会／飯田文化協会
■協力：ホームタウン友の会 ■企画制作：テレビマンユニオン

お問合せ 飯田文化会館 長野県飯田市高羽町 5-5-1 Tel.0265-23-3552 <https://www.city.iida.lg.jp/site/bunkakaikan/>

飯田信用金庫 presents

第22回萩元晴彦ホームタウンコンサート

石田 泰尚 山田 武彦

プロフィール



石田 泰尚 (ヴァイオリン)

Yasunao Ishida
Violin

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年から神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスター（現在は首席ソロ・コンサートマスター）、2020年からは京都市交響楽団特別客演コンサートマスターも務める。その傍らYAMATO String Quartetをはじめ、さまざまなユニットで独特の輝きを見せるほか、幅広いレパートリーを誇り全国のオーケストラとの共演やリサイタルを行うなど、ソリストとしての顔も持つ。また、ミューザ川崎での「石田泰尚スペシャル熱狂の夜」、日本武道館での石田組公演を完売させるなど、音楽家として前人未踏の舞台に挑み続ける。

最新アルバムは2024年4月にユニバーサルからリリースされた『石田組結成10周年記念 2024・春』。使用楽器は1690年製G.Tononi、1726年製M.Goffriller。



山田 武彦 (ピアノ)

Takehiko Yamada
piano

東京藝術大学大学院作曲専攻修了。1993年フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科に入学、同クラスの7種類の卒業公開試験を、審査員の満場一致により首席で一等賞（ブルミエ・プリ）を得て卒業。フランスの演奏団体である2e2m、L'itineraire、Triton2等でソリストとして演奏し、現代音楽の紹介を務める。またフランス北部のランス市において大戦後50周年記念式典のために、ヘブライ語による委嘱作品を発表。帰国後はピアニストとして数多くの演奏者と共演、的確でおおらかなアンサンブル、色彩豊かな音色などが好評を博し、コンサート、録音、放送等の際のソリストのパートナーとして厚い信頼を得る。最近では、三浦一馬キンテート、東京グランド・ソロイスト（TGS）などユニークなコンサートの企画にも参加している。東京藝術大学招聘教授を経て現在同大学ソルフェージュ分野主任、洗足学園音楽大学客員教授、東京音楽大学非常勤講師。全日本ピアノ指導者協会正会員、日本ソルフェージュ研究協議会理事、日本ピアノ教育連盟会員。

萩元晴彦 ホームタウン コンサートとは

「ふるさとにも一流の音楽を」と飯田市出身のプロデューサー故 萩元晴彦さんが提唱し、企画されているコンサートです。平成8年より室内楽の感動を多くの方に届けてくれましたが、萩元さんは平成13年逝去されました。私どもは萩元さんの理念を引き継ぎ、コンサートを続けてまいります。

～ホームタウンコンサートの音色が末長く響きわたり、天国の萩元さんへも届きますように～

